

三小だより

3月号

学校・家庭教育アンケートから

校長 藤本 賀津雄

平成26年度の最後の月を迎えました。来週からいよいよ卒業式の練習も始まります。振り返ってみれば、あっという間の一年間だったような気がします。

さて、以前にご協力いただきました学校・家庭教育アンケートの集計が出来上がりました。今後は学校協議会の皆さまのご意見もいただき、次年度の学校改善に活かしていきたいと思っています。集計結果と考察の詳細については、後日三小のホームページにアップするとともに、保護者の皆様にはプリントにてお配りする予定にしております。全体的には保護者アンケート、児童アンケート共に肯定的な回答が8割を超えており、概ね良好な評価をいただいているように思います。ここでは特に顕著なものだけを紹介したいと思います。

【評価結果の高かったもの】

- 「学校は登下校、不審者対策など、子どもの安全に配慮している。」
- 「学校で火事や地震が起こったときはどうしたらいいか分かっている。」
- 「家庭では、子どもが話しかけてきたとき、聞いてあげるようにしている。」
- 「家庭では、社会のルールを子どもが理解できるようにしている。」
- 「学校には友達がたくさんいる。」
- 「授業中、先生は分かりやすく教えてくれる。」
- 「先生が二人でやる授業や少人数に分ける授業は分かりやすい」

【評価結果の低かったもの】

- 「授業は落ち着いた雰囲気の中で行われている。」
- 「お子様の家庭での読書時間や読書量は増えてきた。」
- 「授業で分からないことがあったら、すぐに先生に質問する。」
- 「自分の身近には、いじめはない。」
- 「睡眠時間は十分とっている。」



上記の評価結果についての分析と考察につきましては、後日お知らせいたしますが、今学校では、学校アンケート結果も踏まえた今年度の教育活動の振り返りを行い、次年度に向けた工夫・改善について話し合っています。南第三小学校がさらに良くなるよう努力してまいりますので、今後とも学校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。